

がん治療後女性における妊娠・出産と循環器疾患について アンケート調査のお願い

がんの治療内容によっては、治療終了後や妊娠・出産の際に、心臓や血管の病気を発症することがあります。その場合、妊娠前や妊娠中・産後に心臓のスクリーニング検査やフォローアップを受けることが勧められます。本研究はそのようながん治療後女性の妊娠・出産を支える医療体制づくりを目的としています。ぜひアンケートへのご協力をよろしく申し上げます。

対 象：18～39歳のがん治療後または維持療法中の女性で、将来妊娠を考えている方、もしくは治療後に妊娠出産を経験された方

アンケート調査期間：2023年12月31日まで

内 容：スマートフォンでインターネット上で回答するアンケート調査です。詳細はホームページにもご案内があります。

参加方法：右記のQRコードをスマートフォンで読み取り、電子アンケート調査票にアクセスしてください。回答はおひとり1回でお願いします。アンケート回答に伴い発生する通信料は自己負担となります。



倫理的配慮：匿名のもと、アンケートに回答頂きますので、個人が特定されることはありません。

参加申し込み・お問い合わせはこちら

がん治療後女性における妊娠・出産と循環器疾患の意識調査事務局 国立循環器病研究センター産婦人科部



電話：06-6170-1070（代表）

メール：can_preg@ml.nvvc.go.jp

◀研究ホームページ：https://can-pregnancy.com